

国道103号大館南バイパス(山館～池内)

大館市と鹿角市・比内町を結ぶ産業、観光の大動脈国道103号。しかし、市中心部の交通渋滞が著しいことから近年はバイパスの必要性が叫ばれています。そこで、交差点のすべてを立体化し、ノンストップで高速走行できる道路の整備が昭和五十五年から進められてきました。

全体九・九kmのうち山館・池内ランプ間の三・七kmが五月二十四日、午後三時に開通します。今回は暫定開通ということで、根本的な渋滞の緩和とはまだいきませんが、池内ランプで国道103号に、餌釣ランプで東バイパスに接続しており、市街地への進入が分散されますから、若干の



渋滞緩和、利便性の向上が図られます。なお、全線開通(立花地内で国道7号と接続)は、平成十年度の予定です。

「供用区間を走る・歩く」

参加者を募集

二十四日、開通記念式典終了後、開通を記念して午後一時から一般に開放します。山館から池内まで歩いて、走っても、自転車でもけっこうです。参加者を募集します。

集合場所

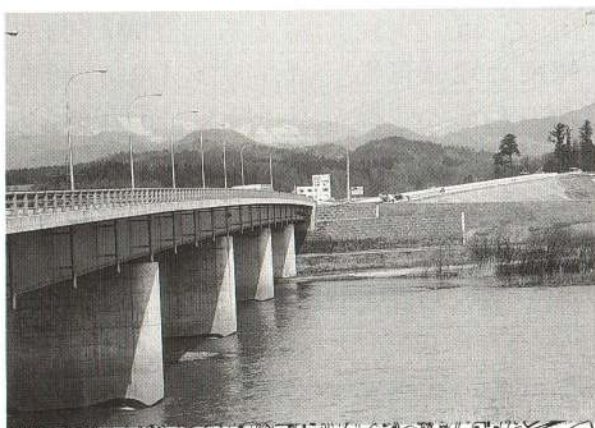
参加希望者は12時50分までバイパスの山館起点にお集まりください。

※駐車場がありません。お車でのご参集はご遠慮ください。
〔開〕都市開発課(内線313)

5月24日 15時

いよいよ 開 通

5月30日 14時



主要地方道比内田代線は市街地を通らないで能代・田代方面から比内・鹿角方面へ抜けることができることから、市中心部の交通渋滞を避ける通過交通や通勤車両に多く利用されています。しかし、横岩地区の踏切の平面交差やその前後の道路が狭いことに加え真中橋の老朽化が著しいことから、それらの解消が強く望まれていました。

こうした現状に対応するため、真中橋の架け替えと横岩地区を迂回し直接国道7号に接続するバイパスが計画され、昭和六十三年から整備が進められていました。

五月三十日、午後二時にこのバイパスが開通します。こ

のバイパスの開通は市街地の混雑の解消に役立つだけでなく、二井田、真中地区や周辺市町村の発展にも大きく寄与するものと思われます。

午後3時から

真中橋は通行止めに

新真中橋の開通に伴い、現在利用されている真中橋は解体・撤去工事のため五月三十日、午後三時から通行止めとなります。ご利用されているかたはご注意ください。

なお、板沢・横岩間については、バイパス途中(流域下水道事務所付近)で市道(横岩立花線)に連絡されているので、そちらをご利用することが出来ます(左図参照)。

主要地方道比内田代線(新真中橋)